

平成23年度 土木部当初予算案の概要

平成23年 2月3日
福島県 土木部

福島県土木部のホームページにも掲載しますので御覧ください

平成23年度 土木部当初予算案の概要

- 1 平成23年度 当初予算要求規模・・・・・・・・・・ P. 1
- 2 平成23年度 当初予算要求方針・・・・・・・・・・ P. 2
- 3 平成23年度 重点事業（重点プログラム推進のための事業）
・・・・・・・・・・ P. 3
- 4 ふくしまの新しい県土づくりプランの「10のビジョン」と
平成23年度の主要事業・・・・・・・・・・ P. 8
- 5 資料編
 - (1) 平成23年度当初予算集計表・・・・・・・・・・ P. 37
 - (2) 土木部一般会計当初予算の推移・・・・・・・・・・ P. 38

土木部の主要な事業については、進捗状況を含め、広く県民の皆様への広報に努めてまいります。

1 平成23年度当初予算要求規模

○当初予算

平成23年度土木部当初予算案額 990億5,022万3千円

- ・前年度土木部当初予算額 1,029億9,268万2千円に対し、39億4,245万9千円の減、対前年度比は3.8%の減
- ・平成23年度県当初予算案額 9,000億3,382万7千円に対する土木部当初予算額の構成比率は11.0%

○予算内訳(公共事業費)

土木部当初予算額のうち、公共事業費 770億5,308万7千円

(対前年度当初予算比 △ 35億1,512万2千円 95.6%)

- ・公共事業費(災害復旧事業費及び国直轄事業負担金を除く)対前年度当初予算比は98.2%

公共事業費の内訳

- ・一般公共事業費 180億3,607万7千円
(対前年度当初予算比 △ 66億4,038万2千円 73.1%)
- ・県単公共事業費 476億8,581万3千円
(対前年度当初予算比 22億7,075万3千円 105.0%)
- ・維持補修費 113億3,119万7千円
(対前年度当初予算比 8億5,450万7千円 108.2%)

※1 公共事業費は、対前年度比4.4%の減

※2 公共事業費(災害復旧事業費及び国直轄負担金を除く)は、対前年度比1.8%の減

※3 一般公共事業費は対前年度比26.9%の減、県単公共事業費は対前年度比5.0%の増、維持補修費は対前年度比8.2%の増

2 平成23年度 当初予算要求方針

1 予算要求・編成の基本方針

福島県総合計画「いきいき ふくしま創造プラン」の部門別計画である「ふくしまの新しい県土づくりプラン」の基本目標である「ともに育む、風土が息づく美しい県土」の実現に向けて、「地域づくりや産業・観光を支援する社会資本」、「安全・安心を守り、適正に管理・活用される社会資本」、「日々の暮らしが快適で豊かになる社会資本」を3つの柱とし、10のビジョンにおける各施策を重点的かつ効果的に進める。

平成23年度当初予算においては、10のビジョンを実現するために必要な予算を確保し、県民の視点を大事に知恵と工夫を凝らしながら、県民生活の安全・安心の確保を最優先に、地域が元気で活気づくような県土づくりを着実に推進する。

2 重点事項

1. 地域づくりや産業・観光を支援する社会資本

ビジョン1 産業の活性化を支援します。

- 縦横6本の連携軸に位置付けられた基幹的な道路や地域連携道路及び港湾の整備により地域間の連携強化、地域産業の活性化、物流の効率化を支援する。
- 地域の資源を生かした、ふくしま型の住まいづくりを進める。

ビジョン2 おもてなしの心を伝える観光を支援します。

- 観光拠点や観光施設の広域的な連携を支援し、経済活動の活性化を図る。

ビジョン3 まちのにぎわいづくりを支援します。

- 交流とにぎわいづくりを支える街なかの道路を整備し、安全で快適な生活環境の確保や美しい街並み形成に努め、まちのにぎわいづくりを支援する。

ビジョン4 地域づくり、地域間の交流を進めます。

- 文化や伝統、歴史、風土など、地域資源を生かした地域づくりを進める。
- 定住・二地域居住を進めるため、居住環境の向上を推進する。

2. 安全・安心を守り、適正に管理・活用される社会資本

ビジョン5 自然災害から命・財産を守ります。

- ソフト・ハードが一体となった治水対策、土砂災害対策により、集中豪雨や洪水など災害から県民の生命・財産を守るとともに、自然災害に強い道路網の強化を図る。

ビジョン6 適正な維持管理を行い、生活の安全・安心を守ります。

- 道路、河川などの社会資本の計画的・戦略的な維持管理により、県民の安全・安心を確保する。

ビジョン7 過疎・中山間地域、積雪地域の暮らしを守ります。

- 命を守る道路の整備等により、過疎・中山間地域、積雪地域の安心した暮らしを支援する。

3. 日々の暮らしが快適で豊かになる社会資本

ビジョン8 水環境などに優しく、美しいふくしまを継承します。

- 下水道の整備などを進め、河川・湖沼の水質保全を図る。

ビジョン9 地域の住み心地や快適さを向上させます。

- 地域住民の多くの要望に即応した身近な生活基盤の改善により、生活環境の向上を図る。

ビジョン10 みんなが元気になる生活環境を向上させます。

- 歩行環境を整備し、歩行者の安全を確保する。
- 子育て世帯や高齢者などに配慮した住まいづくりを支援する。

3 平成23年度 重点事業(重点プログラム推進のための事業)

福島県総合計画「いきいき Fukushima創造プラン」の重点プログラム推進のための事業のうち、
 主な土木部事業は以下のとおり。

(単位 百万円)

事業名	担当課	関係部局	新規	事業の概要	予算額	連携を図る具体的な内容
地域に根ざした建設業新分野進出応援事業	建設産業室	総務部 生活環境部 保健福祉部 商工労働部 農林水産部	○	新分野進出を検討している建設企業の雇用の創出・確保、経営基盤の強化を図るため、「育成塾」を創設し、建設業の自主的な新分野進出の取組みを支援する。	8	建設企業の新分野進出にあたり、関係部局と共に企業の経営や資金に関する相談・情報提供等を行う。
ふくしまの低炭素社会づくり推進事業 ～森を木づかうふくしま住まいる事業～ 外	建築指導課	農林水産部		住宅全体の木材使用量の1/2以上を、県産木材を使用し県内に住宅を新築する場合、建て主に対して建設経費の一部を助成する。	47	農林水産部の開催する木材生産者等を対象にしたセミナー等にて、本事業を広報し、県産木材の利活用拡大を図る。また、農林水産部と共に県産木材証明の確認を行う。
元気ふくしま、地域づくり・交流促進事業 外	まちづくり推進課	総務部 企画調整部 生活環境部 商工労働部 観光交流局 農林水産部		本県の多彩な風土や観光資源、地域資源の活用など持続的成長が可能な地域づくりを図ると同時に交流人口の拡大に結びつく戦略を地域団体・住民や市町村とともに策定しつつ、各主体の役割分担のもと、ソフト・ハード両面から地域活性化のための仕掛けづくりと基盤の整備に取り組む。	741	地域住民が思い描く将来の姿の実現に向け、地域づくりの方針や各主体の実施内容等をまとめた「地域づくり計画」の策定を、関係部局(地方振興局等)と共に実施する。 また、事業の実施にあたっては、他部局、関係市町村、地域づくり団体等の他事業と事前に事業内容を共有し、一体的な事業実施により、相乗的な効果発現を図る。
田舎に住んで民家促進事業	建築指導課	観光交流局 農林水産部		古民家を活用しながら、不動産や住宅改修に関する相談等の支援を官民協同で行い、定住・二地域居住の実現を図る。	4	観光交流局の事業として行っている「ふくしまふるさと暮らし情報センター」と情報を共有し、きめ細やかな相談対応を行う。農林水産部と共に、古民家等改修工事で活用する銘木や県産木材の活用のための情報提供等を行う。



建設業の新分野進出を応援【新規】

～新分野進出を模索・検討している建設企業の皆様の取り組みを応援します～

県の重点プログラム
を推進する事業

事業の目的

新分野進出を検討している建設企業の雇用の創出・確保、経営基盤の強化を図るため、「育成塾」を創設し、建設業の自主的な新分野進出の取り組みを応援します。

事業の内容

地域に根ざした建設業新分野進出応援事業

○次代へつなぐ“育成塾”

- ・ 専門家による講義
(進出の必要性、業種毎の特性、会社経営、販路開拓、人材育成、異業種連携)
- ・ 新分野進出企業事例研究
(新分野へ進出した建設企業からの事例発表)
- ・ 先進事例調査
(新分野へ進出した建設企業を視察)

○経営計画書作成(補助金)

- ・ 新分野進出に係る経営計画書等作成の費用について補助金を支出

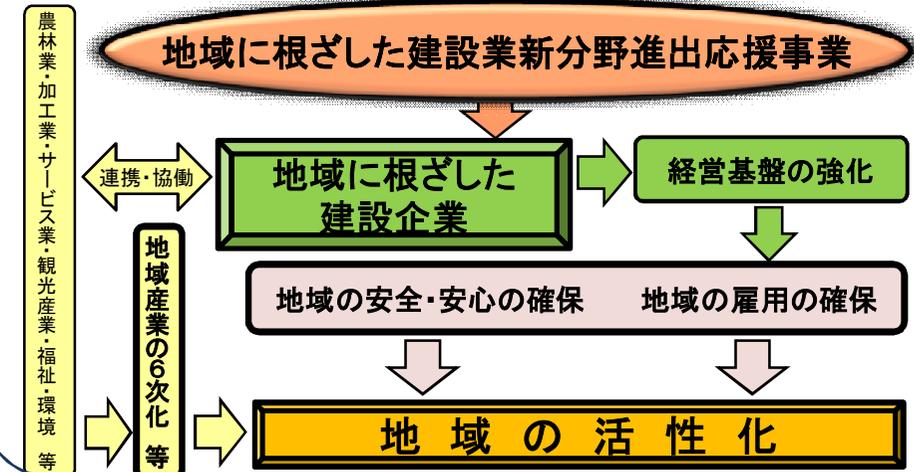
○建設業新分野進出企業認定事業

- ・ 要件：建設業以外の新分野へ進出した建設企業
- ・ 特典：入札参加資格審査と総合評価方式の加点

○建設業新分野進出優良企業表彰事業

- ・ 要件：認定され、優れた成果を収めている建設企業
- ・ 特典：入札参加資格審査の加点

事業のイメージ



事業の状況

【新分野進出の事例】



林業への進出



介護事業の運営



温泉施設の経営



ふくしまの低炭素社会づくりの推進

～地域の資源を活かした連携によるふくしま型の住まいづくりを進めます～

県の重点プログラム
を推進する事業

取組みの目的

県内の林業・住宅産業に携わる方々の連携を促進するとともに、県産木材を使用した住まいに対し補助を行い、低炭素型社会の実現と地域住宅産業の活性化を図ります。

取組みの内容

○森を木づかうふくしま住まいる事業（土木部）

- ・ 県内工務店等により県産木材を一定量以上使用して新築する住宅の建て主に、建設費の一部を補助（30万円を上限）
- ・ 県産木材を使用した木造住宅の建設は、地域住宅産業の活性化とCO₂の削減につながることを広く周知

○「ふくしまの家」促進事業（土木部）

- ・ 県内工務店等が長期優良住宅の認定を容易に取得できるような環境を整備

○緑の住宅普及支援事業（農林水産部）

- ・ 県産木材住宅普及のため、建て主等にセミナー、ワークショップ、木材生産現場ツアー等を開催

「森を木づかうふくしま住まいる事業」補助制度の内容

住宅の新築を考えている県内在住の皆様へ！

- ◆ 建築費の一部（1棟あたり30万円）を補助します ◆

主な条件は以下のとおりです。

- 県内に自ら居住するための木造住宅
- 主たる営業所が県内にある施工者により建設される住宅
- 延べ床面積が70㎡以上の戸建て住宅
- 使用木材の概ね1/2以上かつ10m³以上が県産木材の住宅
- 建設現場見学会の開催など県産木材のPRに協力できる住宅
など（募集の詳細は決定次第公表いたします）

この取り組みが、豊かな森林環境、県内木材産業の活性化、そして、CO₂削減等に繋がります。

詳しくは福島県土木部建築指導課へ
Tel 024-521-7528



みんなで育もう『地域の宝』

～文化や伝統、歴史、風土など地域資源を生かした地域づくり～

県の重点プログラム
を推進する事業

取組みの目的

県内の多彩な観光資源、地域資源（地域の宝）を活用し、個性と魅力ある美しい地域づくりを目指します。

地域団体・住民や市町村と連携・協働し、地域に愛着と誇りを持ち、未来に希望が持てる地域社会の実現を目指します。

実施予定箇所

- ①奥州・羽州街道地区
(桑折町・国見町)
- ②宮下地区(三島町)
- ③あぶくまロマンチック街道
(飯舘村ほか) ほか



取組みの内容

地域資源への気づき



地域住民との懇談会

地域が描く将来像の共有

各主体の役割分担による事業実施

地域とともに行うソフト事業

地域にとって必要なハード事業



清掃活動（白河市・南湖地区）



堤防を遊歩道へ（郡山市・中田地区）

「人」と「地域」が輝くふくしま

実施の状況



待避所・休憩所づくり
(金山町・国道252地区)



案内板づくり
(下郷町・大内宿周辺地区)



橋のライトアップ
(福島市・飯坂地区)



視点場づくり
(浪江町、葛尾村・高瀬川溪谷地区)



田舎に住んで民家！？

～定住・二地域居住を進めるため、居住環境の向上に努めます～

県の重点プログラム
を推進する事業

取組みの目的

県外からの二地域居住・UIJターン希望者や県内の移住希望者等に対して、魅力ある理想の住まいを探し出せる環境と安心して暮らせる居住環境の整備を支援します。

取組みの内容

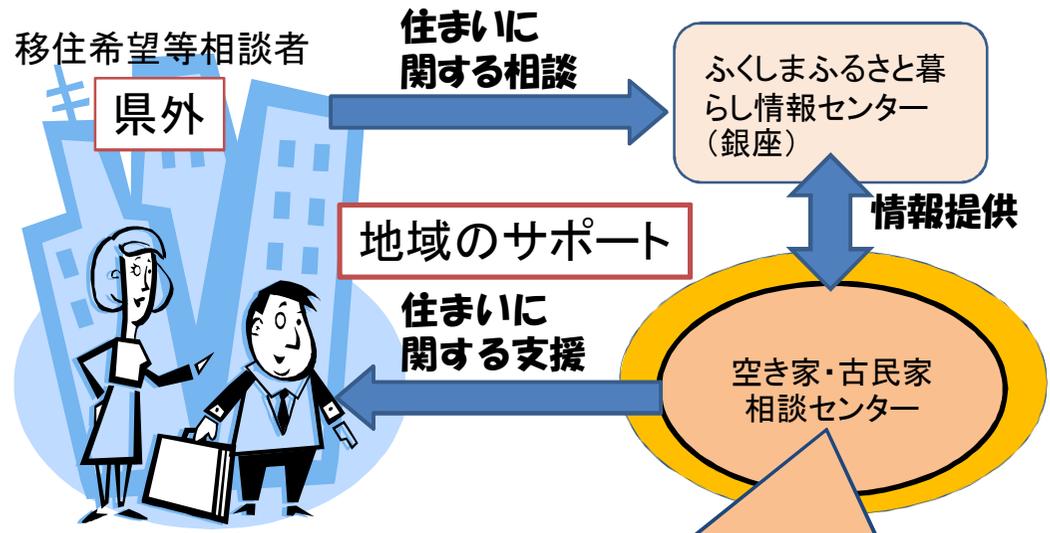
定住・二地域居住希望者等の住まいに関するサポートを行います。

- ① 空き家等の改修方法や活用方法など、電話や現地にて相談に応じます。
- ② 田舎暮らしに人気のある古民家などの空き家物件の情報収集をします。

取組みの効果

- 定住・二地域居住・UIJターン希望者からの住宅ニーズの拡大
→地域住宅産業の活性化
- 交流人口の増加による地域の活性化
- 空き家の解消

相談対応のイメージ図



「福島県空き家・古民家相談センター」 住まいに関するサポート窓口



[各地域支部等]
・現地調査・相談対応

現地へ派遣



[本部] 福島県耐震化・リフォーム等
推進協議会
・相談受付(総括)・現地調査担当調整

4 ふくしまの新しい県土づくりプランの「10のビジョン」と 平成23年度の主要事業

1 地域づくりや産業・観光を支援する社会資本

- | | 資料番号
(右下の番号) |
|-----------------------------|-----------------|
| ◆ビジョン1 産業の活性化を支援します。 | …1 |
| ・「ふくしまを元気にする道・みなとづくり」 | …1 |
| ・「ふくしまの低炭素社会づくりの推進」【重点事業】 | (再掲) …2 |
| ・「建設産業の新分野進出を応援」【重点事業】【新規】 | (再掲) …3 |
| ◆ビジョン2 おもてなしの心を伝える観光を支援します。 | …4 |
| ・「広域連携で観光と地域の元気を回復！」 | …4 |
| ◆ビジョン3 まちのにぎわいづくりを支援します。 | …5 |
| ・「出逢い・交流する街なかの道づくり！」 | …5 |
| ・「みんなが楽しめる漁港をつくります」 | …6 |
| ◆ビジョン4 地域づくり、地域間の交流を進めます。 | …7 |
| ・「みんなで育もう『地域の宝』」【重点事業】 | (再掲) …7 |
| ・「田舎に住んで民家!？」【重点事業】 | (再掲) …8 |



2 安全・安心を守り、適正に管理・活用される社会資本

- | | 資料番号
(右下の番号) |
|----------------------------------|-----------------|
| ◆ビジョン5 自然災害から命・財産を守ります。 | …9 |
| ・「道路長寿命化対策事業 外」【重点事業】 | …9 |
| ・「落石や地震、自然災害に強い“ふくしまの道”」【重点事業】 | …10 |
| ・「災害は水から(自ら)守って安全・安心!」【重点事業】 | …11 |
| ・「土砂災害から守るみんなの命」【重点事業】 | …12 |
| ・「安全安心ふくしまの家づくりの推進」【重点事業】 | …13 |
| ◆ビジョン6 適正な維持管理を行い、生活の安全・安心を守ります。 | …14 |
| ・「“いつでも、いつまでも”安全・安心な道」【重点事業】 | …14 |
| ・「未来につなげる安全・安心」 | …15 |
| ・「通学路などの歩道整備による安全な歩行空間確保」 | …16 |
| ◆ビジョン7 積雪地域、過疎・中山間地域の暮らしを守ります。 | …17 |
| ・「里山の暮らしを支える道づくり」【重点事業】 | …17 |
| ・「命を守り、雪に強い道路で地域を支援」 | …18 |
| ・「チャレンジ!ふくしま『ゆい(結)の道』作戦～試験除雪～」 | …19 |



3 日々の暮らしが快適で豊かになる社会資本

- | | 資料番号
(右下の番号) |
|---------------------------------|-----------------|
| ◆ビジョン8 水環境などに優しく、美しいふくしまを継承します。 | …20 |
| ・「未来へつなげよう!流域連携による美しい水環境」 | …20 |
| ・「地球に優しく、美しいふくしまを支える道づくり」 | …21 |
| ・「環境にやさしいモデル工事の推進」【重点事業】 | …22 |
| ・「進めよう!環境と人にやさしい『ふくしまエコ建築』」 | …23 |
| ◆ビジョン9 地域の住み心地や快適さを向上させます。 | …24 |
| ・「ともに考え ともに育む身近な生活基盤」 | …24 |
| ・「やすらぎと潤いを与える緑豊かな都市公園の整備」 | …25 |
| ◆ビジョン10 みんなが元気になる生活環境を向上させます。 | …26 |
| ・「人にやさしく安全で快適な歩行環境づくり」【重点事業】 | …26 |
| ・「子育て世帯など、みんなにやさしい 住まいの提供!!」 | …27 |
| ・「進めます!“みんなにやさしい”公共建築」【重点事業】 | …28 |





ふくしまを元気にする道・みなとづくり

～ネットワーク強化による、産業振興・交流拡大～

取組みの目的

- 7つの生活圏相互や県外との連携・交流の強化を支援します。
- 物流拠点間のネットワーク強化や地域間の連携・交流を支援します。
- 船舶による海外や国内との物流を支え産業の活性化を支援します。

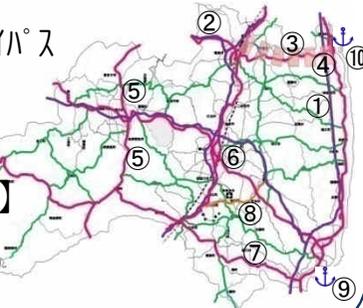
実施予定箇所

【連携・交流を支える道路の整備(主な箇所)】

- ①常磐自動車道(じょうばんとみおか やまもと)(常磐富岡～山元間)【東日本高速道路(株)施工】
- ②東北中央道(福島～米沢間)【国施工】
- ③国道115号阿武隈東道路【国施工】・霊山道路【国施工】
- ④国道115号相馬南バ^ス【(H23年度完了予定)】
- ⑤会津縦貫北(じゅうかん)【国施工】・縦貫南道路
- ⑥国道288号(ふくやま)富久山バ^ス・三春西バ^ス(みはるにし)
- ⑦国道289号渡瀬バ^ス(わたらせ)
- ⑧県道いわき石川線 石川バ^ス ほか

【物流の拠点となるみなとの整備】

- ⑨小名浜港「東港地区ほか」(いわき市)
- ⑩相馬港「3号ふ頭地区」(新地町)



取組みの内容

- 県土の骨格をなす道路（基幹的な道路及び地域連携道路：32路線）の計画的な整備を進め、物流拠点間や地域間の円滑な交通を確保します。
- みなとの整備により、船舶の大型化などに対応します。

実施の状況



【常磐自動車道 (仮)原町IC】



【国道115号 相馬南バイパス】



【国道288号 三春西バイパス】



【国際物流の拠点 小名浜港】



ふくしまの低炭素社会づくりの推進

～地域の資源を活かした連携によるふくしま型の住まいづくりを進めます～

県の重点プログラム
を推進する事業

取組みの目的

県内の林業・住宅産業に携わる方々の連携を促進するとともに、県産木材を使用した住まいに対し補助を行い、低炭素型社会の実現と地域住宅産業の活性化を図ります。

取組みの内容

○森を木づかうふくしま住まいる事業（土木部）

- ・ 県内工務店等により県産木材を一定量以上使用して新築する住宅の建て主に、建設費の一部を補助（30万円を上限）
- ・ 県産木材を使用した木造住宅の建設は、地域住宅産業の活性化とCO₂の削減につながることを広く周知

○「ふくしまの家」促進事業（土木部）

- ・ 県内工務店等が長期優良住宅の認定を容易に取得できるような環境を整備

○緑の住宅普及支援事業（農林水産部）

- ・ 県産木材住宅普及のため、建て主等にセミナー、ワークショップ、木材生産現場ツアー等を開催

「森を木づかうふくしま住まいる事業」補助制度の内容

住宅の新築を考えている県内在住の皆様へ！

- ◆ 建築費の一部（1棟あたり30万円）を補助します ◆

主な条件は以下のとおりです。

- 県内に自ら居住するための木造住宅
- 主たる営業所が県内にある施工者により建設される住宅
- 延べ床面積が70㎡以上の戸建て住宅
- 使用木材の概ね1/2以上かつ10m³以上が県産木材の住宅
- 建設現場見学会の開催など県産木材のPRに協力できる住宅
など（募集の詳細は決定次第公表いたします）

この取り組みが、豊かな森林環境、県内木材産業の活性化、そして、CO₂削減等に繋がります。

詳しくは福島県土木部建築指導課へ
Tel 024-521-7528



建設業の新分野進出を応援【新規】

～新分野進出を模索・検討している建設企業の皆様の取り組みを応援します～

県の重点プログラム
を推進する事業

事業の目的

新分野進出を検討している建設企業の雇用の創出・確保、経営基盤の強化を図るため、「育成塾」を創設し、建設業の自主的な新分野進出の取り組みを応援します。

事業の内容

地域に根ざした建設業新分野進出応援事業

○次代へつなぐ“育成塾”

- ・ 専門家による講義
(進出の必要性、業種毎の特性、会社経営、販路開拓、人材育成、異業種連携)
- ・ 新分野進出企業事例研究
(新分野へ進出した建設企業からの事例発表)
- ・ 先進事例調査
(新分野へ進出した建設企業を視察)

○経営計画書作成(補助金)

- ・ 新分野進出に係る経営計画書等作成の費用について補助金を支出

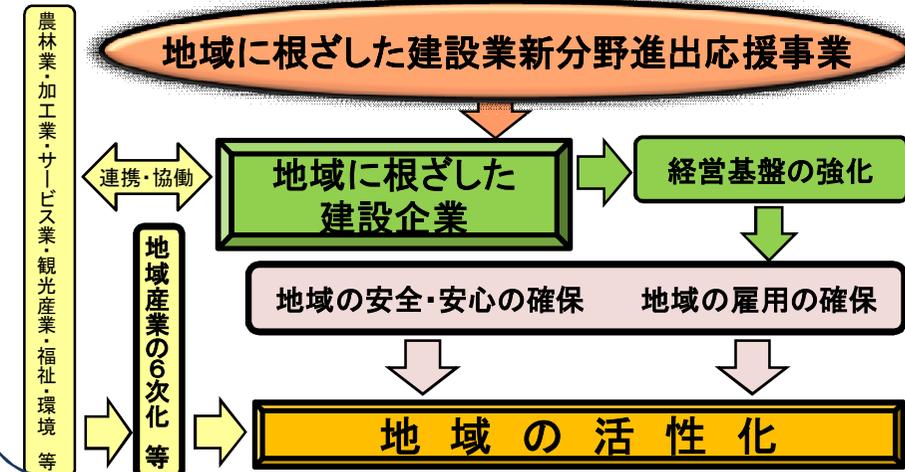
○建設業新分野進出企業認定事業

- ・ 要件：建設業以外の新分野へ進出した建設企業
- ・ 特典：入札参加資格審査と総合評価方式の加点

○建設業新分野進出優良企業表彰事業

- ・ 要件：認定され、優れた成果を収めている建設企業
- ・ 特典：入札参加資格審査の加点

事業のイメージ



事業の状況

【新分野進出の事例】



林業への進出



介護事業の運営



温泉施設の経営



広域連携で観光と地域の元気を回復!

～広域的な観光活性化を図り、観光産業をはじめとして、新たな雇用の確保や地場産業の振興に努めます～

取組みの目的

観光拠点や観光施設の広域的な連携のため、密接に関係する道路・河川などのハード事業のほか、観光キャンペーンの展開、環境保全などのソフト事業も積極的に展開します。

大内宿(下郷町)



滝桜(三春町)



< 広域観光拠点の例 >

取組みの内容

- 常磐自動車道の北伸を契機に、各観光施設を結ぶ道路整備や案内標識の充実等（相双地域）
- 甲子道路の開通を契機に、会津地域に分散する観光施設群の連携を強化する道路等の整備（会津・白河地域）
- 「さくら回廊」の魅力アップと温泉街が連なる「いで湯街」との連携を強化する道路等の整備（あぶくま高原地域）
- いわき地域の観光資源へのアクセス向上を図る道路等の整備（いわき地域）

実施予定エリア（4地域）

《会津の歴史・文化・自然を活かした広域的な観光活性化》
 白河と会津地域を結ぶ国道289号甲子道路の開通を契機に、会津地域の広域的な観光の活性化と国際性豊かな広域交流人口の拡大を図る。
 【計画期間：H20～H24】

《「さくら回廊といで湯」を活かした広域的な観光活性化》
 あぶくま高原道路の全線開通を契機に、あぶくま高原地域のさくらを中心とした広域的な観光の活性化を図る。
 【計画期間：H20～H24】

《高速道路を活かした広域的な観光活性化》
 常磐自動車道の北伸を契機に、高速道路を活かした広域的な観光の活性化を図る。
 【計画期間：H19～H23】

《山と海を活かした広域的な観光活性化》
 いわき海浜部に連なる観光拠点群の観光入込客を山並みに連なる観光拠点群へと誘導することにより、地域内の広域的な観光の活性化を図る。
 【計画期間：H20～H24】



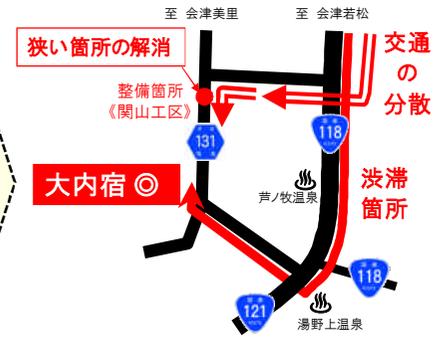
実施の状況

観光地における交通渋滞の解消を図ります。

多くの観光客が訪れる大内宿周辺の渋滞緩和を図り観光を支援



< 大内宿周辺の渋滞状況 >



< 代替路の整備による交通の分散化 >



出逢い・交流する街なかの道づくり！

～街なかの道路を整備し、地域の賑わいづくりを支援します。～

取組みの目的

環状道路や主要地点を結ぶ都市の骨格となる街なかの道づくりを進めることで交通の円滑化を図るとともに、市街地の賑わいづくりに向けた出逢い・交流する公共空間として、街なかの道づくりを進めます。



亀賀門田線 追手町工区
(会津若松市)
供用開始後の状況



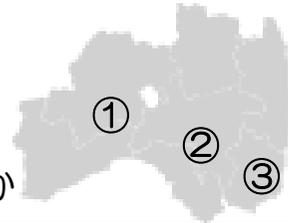
小倉寺大森線
(福島市)
供用開始後の状況

取組みの内容

○景観協定やまちづくり計画等による地域のまちなみ形成と連携した街なかの道づくりを進めます。
○交通の円滑化や歩いて暮らせるまちづくりを支援する街なかの道づくりを進めます。

実施予定箇所

- ① 亀賀門田線 (会津若松市)
- ② 須賀川駅並木町線 (須賀川市)
- ③ 平磐城線 (いわき市) ほか



実施の状況



整備前写真：冬
＜亀賀門田線整備前＞



＜亀賀門田線整備後イメージ＞



＜須賀川駅並木町線 整備前＞



＜須賀川駅並木町線整備後イメージ＞



みんなが楽しめる漁港をつくります。

～漁港とまちが一体となる地域づくり～

取組みの目的

水産資源や漁船の減少により漁港の活気が失われつつあるため、漁港を活用して新たな観光拠点とする地域の取組みを支援し、港とまちが一体となる地域づくりを応援します。



漁港施設を活用した『道の駅』
よつら港(H22.7月グランドオープン)



環境整備事業により整備された
交流広場を活用した体験学習を
支援しています

取組みの内容

- 漁港の多面的機能を活用し、新たな観光拠点とする地域づくりを支援します。
- 漁港とまちが身近な交流の場とするため、漁港の環境整備を町と一体となって実施します。
- 安心して利用できる緑地や、安全な海水浴場を整備します。

実施予定箇所

【漁港の環境整備と多面的利用の支援】

- ①富岡漁港(富岡町)
- ②四倉漁港(いわき市)



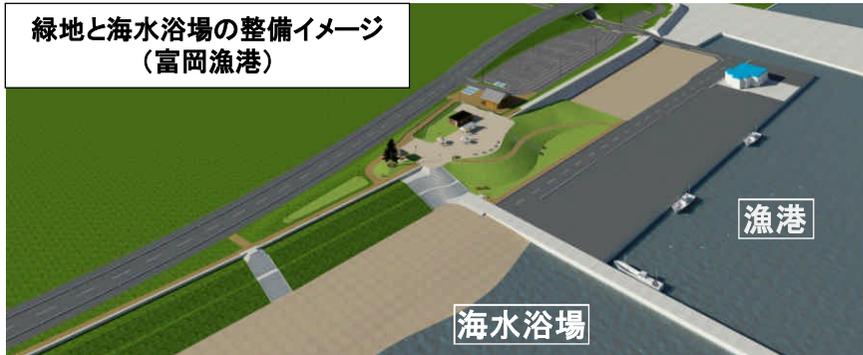
実施の状況

富岡漁港の社会実験を
支援しています



友好都市(埼玉県杉戸町)での
水産物実験販売

緑地と海水浴場の整備イメージ
(富岡漁港)



海水浴場

漁港



みんなで育もう『地域の宝』

～文化や伝統、歴史、風土など地域資源を生かした地域づくり～

県の重点プログラム
を推進する事業

取組みの目的

県内の多彩な観光資源、地域資源（地域の宝）を活用し、個性と魅力ある美しい地域づくりを目指します。

地域団体・住民や市町村と連携・協働し、地域に愛着と誇りを持ち、未来に希望が持てる地域社会の実現を目指します。

実施予定箇所

- ①奥州・羽州街道地区
(桑折町・国見町)
- ②宮下地区(三島町)
- ③あぶくまロマンチック街道
(飯舘村ほか) ほか



取組みの内容

地域資源への気づき



地域住民との懇談会

地域が描く将来像の共有

各主体の役割分担による事業実施

地域とともに行うソフト事業

地域にとって必要なハード事業



清掃活動（白河市・南湖地区）



堤防を遊歩道へ（郡山市・中田地区）

「人」と「地域」が輝くふくしま

実施の状況



待避所・休憩所づくり
(金山町・国道252地区)



案内板づくり
(下郷町・大内宿周辺地区)



橋のライトアップ
(福島市・飯坂地区)



視点場づくり
(浪江町、葛尾村・高瀬川溪谷地区)



田舎に住んで民家！？

～定住・二地域居住を進めるため、居住環境の向上に努めます～

県の重点プログラム
を推進する事業

取組みの目的

県外からの二地域居住・UIJターン希望者や県内の移住希望者等に対して、魅力ある理想の住まいを探し出せる環境と安心して暮らせる居住環境の整備を支援します。

取組みの内容

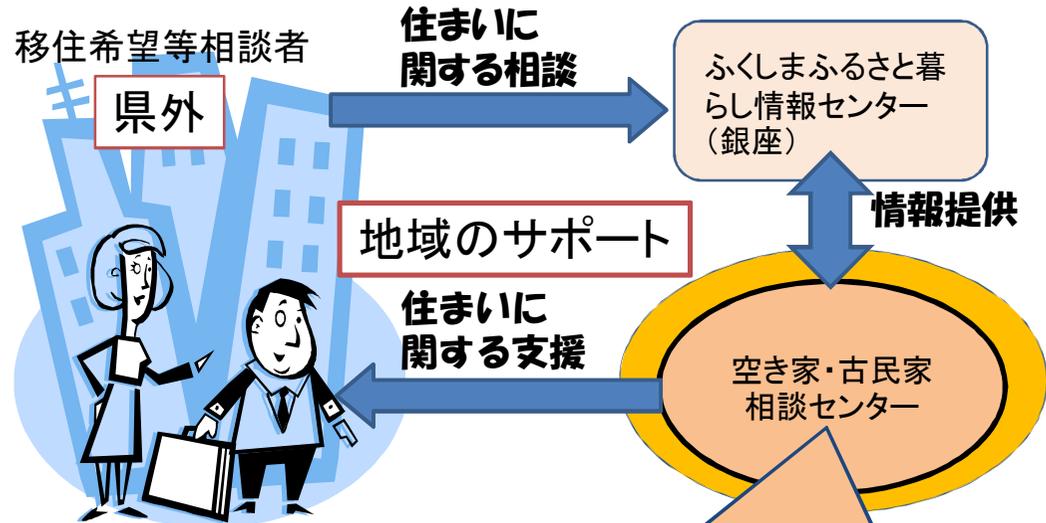
定住・二地域居住希望者等の住まいに関するサポートを行います。

- ① 空き家等の改修方法や活用方法など、電話や現地にて相談に応じます。
- ② 田舎暮らしに人気のある古民家などの空き家物件の情報収集をします。

取組みの効果

- 定住・二地域居住・UIJターン希望者からの住宅ニーズの拡大
→地域住宅産業の活性化
- 交流人口の増加による地域の活性化
- 空き家の解消

相談対応のイメージ図



「福島県空き家・古民家相談センター」 住まいに関するサポート窓口



[各地域支部等]
・現地調査・相談対応

現地へ派遣



[本部] 福島県耐震化・リフォーム等推進協議会
・相談受付(総括)・現地調査担当調整



道路長寿命化対策事業 外

- 道路長寿命化対策事業
- 交付金事業
- 地方特定道路整備事業

～県民の安全・安心を守るため、戦略性を持ち計画的に橋りょうの補修、補強を行います～

県の重点プログラムを推進する事業

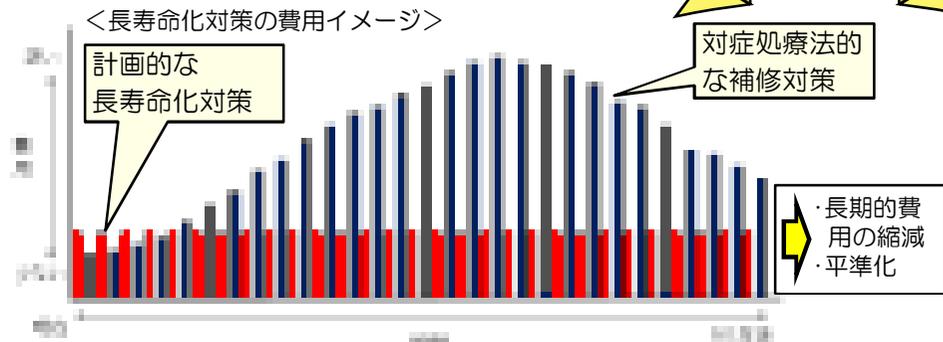
取組みの目的

- 橋りょう補修（長寿命化対策）
今後急速に老朽化が進む橋りょうを計画的に長寿命化し、安全性の向上と長期的な維持管理費用の縮減及び平準化を図ります。
- 橋りょう耐震補強（震災対策）
役場や避難所などの防災拠点を結ぶ緊急輸送路における橋りょうの耐震化を行い、震災に強い道路ネットワークの形成を図ります。

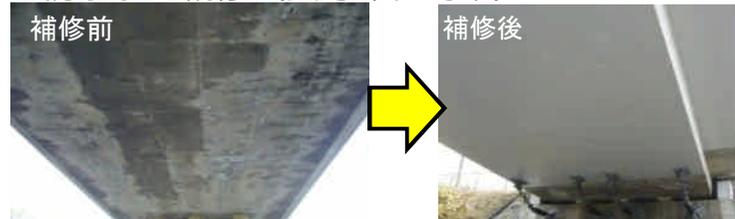
取組みの内容

- 橋りょう補修（長寿命化対策）
橋梁を良好な状態に保つため、橋桁の補修や再塗装等を行い、長寿命化を図ります。
- 橋りょう耐震補強（震災対策）
地震による橋桁の落下や、橋脚の被災を防止するため、桁及び下部工に必要な補強を行い、倒壊などの被害を防止します。

事業イメージ



【橋りょう補修（長寿命化対策）】



劣化した桁の補修により橋の長寿命化を図ります。

＜補修予定橋梁数＞

H23年度は約120橋について長寿命化対策に着手します。

【耐震補強（震災対策）】



＜耐震補強の進捗状況＞

【要対策数】

緊急輸送路の耐震化が必要な橋梁は255橋。

【H22年度末予定】

うち、H22年度で250橋について対策完了。

H23年度は残る5橋のうち3橋について耐震対策に着手し、2橋について道路改良工事と併せて設計等を実施します。



落石や地震、自然災害に強い“ふくしまの道”

～自然災害に強い道路ネットワークの整備～

取組みの目的

大規模地震や異常気象による大雨等の自然災害に備え、安全で安心して利用、通行できるよう、落石対策や橋りょうの耐震補強等の道路整備を行い、交通の安全・安心を確保します。



<落石対策 整備例: 施工前
(国道121号: 南会津町向山工区)>



【ロープ掛工】
<落石対策 整備例: 施工後
(斜面の岩塊を固定)>

取組みの内容

- 落石が発生した箇所や恐れがある危険箇所を整備します。
- 緊急輸送路における橋りょうの耐震対策を計画的に進め、地震に強い道路をつくります。

実施予定箇所

- 落石対策は、斜面等に変状が見られるなど優先度が高い約1,320箇所のうち、約60%が完了しています。今年度は75箇所で対策を実施します。
- 緊急輸送路の耐震化が必要な255橋のうち250橋が完了しています。残る5橋について、3橋の対策に着工し、2橋の設計を進めます。

県の重点70プログラムを推進する事業

実施の状況

【橋りょう耐震補強：整備例】



大規模な地震が発生した際に、構造的に弱い部分を補強することで、倒壊や落橋などの被害を防止します。

【落石対策：整備例】



【ロックキーパー】



【落石防護柵工】



災害は水から（自ら）守って安全・安心！

～ソフト・ハードが一体となった治水対策を進め、県民の生命・財産を守ります～

県の重点プログラム
を推進する事業

取組みの目的

豪雨災害から県民の生命・財産を守るため、河川の整備や防災情報などの提供を行い、地域と連携した減災体制を構築します。

H12,8,5 集中豪雨



桜川の洪水状況
(三春町 平成12年8月)

取組みの内容

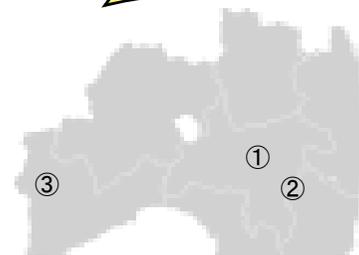
○洪水による浸水被害が頻発している市街地河川を重点的に整備し、家屋などの浸水被害を解消します。

○地域の方が河川の増水を目で見てわかるように、橋などに目印となる目盛りを付けます。

○集中豪雨から命を守るための講習会や出前講座、水災害情報図の作成を行い、「犠牲者ゼロ」への取り組みを進めます。

実施予定箇所

- (1) 河川の整備
 - ①桜川(三春町)
 - ②右支夏井川(小野町) ほか
- (2) 河川水位表示板設置事業
 - ③伊南川(南会津町) ほか
- (3) 集中豪雨から命を守るプロジェクト事業(県内8方部)



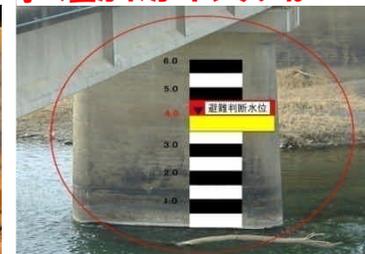
実施の状況

川があふれて危ない場所は…(〇:)

水の量がわかりやすいね!!



水災害情報図を使った訓練



水位がわかる目盛りを設置

整備前

川を広げ、調節池を整備したことにより
安全になりました!(〇)/

整備後



河川の整備(湯本川・いわき市)



土砂災害から守るみんなの命

～ソフト・ハードが一体となった土砂災害対策を進め、県民の生命・財産を守ります～

県の重点プログラム
を推進する事業

取組みの目的

砂防えん堤等のハード対策や土砂災害警戒区域等指定のソフト対策を進め、土砂災害から県民の生命と財産を守り、安全で安心できる生活環境を確保します。



太陽の国（西郷村）
平成10年8月被災



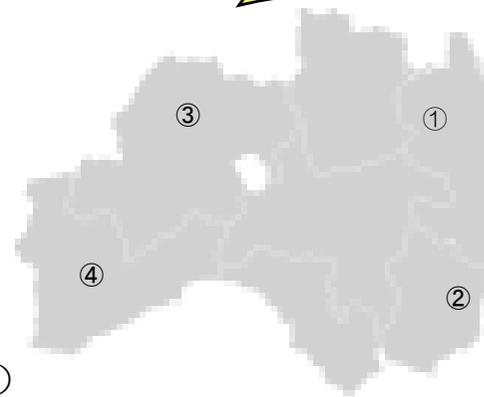
砂防えん堤による土石流対策
平成11年7月完成

取組みの内容

- 被災箇所等、災害の危険性の高い箇所や災害時要援護者関連施設のある土砂災害危険箇所を重点的に整備します。
- 土砂災害から身体・生命を守るための警戒避難制の支援のため、土砂災害警戒区域等の指定を進めます。
- 警戒避難体制の強化と防災意識の高揚を図るため、土砂災害防災訓練を市町村等と連携して実施します。

実施予定箇所

- ①土石流対策
「前田沢」（飯舘村）
- ②急傾斜地対策
「五林」（いわき市）
- ③地すべり対策
「蓬莱地区」（喜多方市）
- ④ソフト対策
基礎調査（南会津町ほか）



実施の状況



災害時要援護者関連施設（幼稚園）
急傾斜地対策



土砂災害防災訓練



地すべり対策

※災害時要援護者関連施設（老人福祉施設、病院、幼稚園など）への対策は、保健福祉部などと連携して進めています。



安全安心ふくしまの家づくりの推進

～地震などの災害に強い住宅づくりを支援します～

県の重点プログラム
を推進する事業

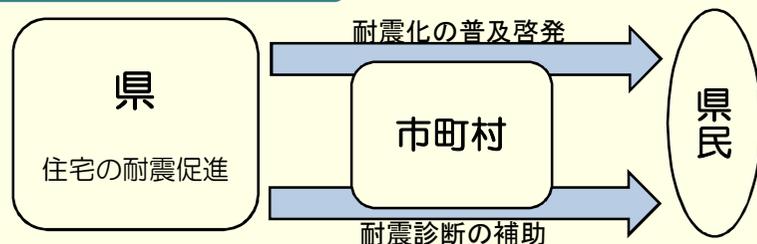
取組みの目的

安全で安心して暮らせる地域社会を形成するため、生活の基礎となる住宅の安全安心を確保し、より良質な住宅のストック形成を推進します。

取組みの内容

- 耐震化普及啓発技術者派遣事業
耐震に関する普及啓発のため、市町村で実施する地区説明会等へ専門技術者を派遣します。
- 安全安心耐震促進事業
緊急輸送道路に面する地区や倒壊のおそれがある住宅の密集する地区、市町村耐震改修促進計画で定める重点地区等で木造住宅耐震診断を実施する市町村を支援します。

取組みのイメージ



実施の状況

県民への普及啓発
＜地区での専門家による説明会を開催＞



＜木造住宅耐震診断の実施＞



＜耐震改修事例
：筋交い補強例＞





“いつでも、いつまでも” 安全・安心な道

～計画的・戦略的な維持管理による安全・安心な道づくり～

取組みの目的

既存の道路施設を長持ちさせるなど、計画的・戦略的な維持管理に努め、道路利用者の安全・安心の確保を図るとともに快適で住みやすい地域づくりを支援します。

【 戦略的とは… 】

- 単なる現状回復ではなく、○地域の方々の意見を取り入れながら、
- 使いやすさ(用)、丈夫で長持ちすること(強)、美しさ(美)に配慮し、
- 創意工夫を凝らして質・機能の向上を図る など

取組みの内容

- 計画的な橋梁の長寿命化対策を進めます。
- きめ細やかな道路パトロールを実施します。
- 地域の方々と市町村、県の三者が協働して、道路の清掃、美化活動を行います。
- 路肩を広げる工夫により、安全を確保します。
- おもてなしの道づくり（フレッシュアップ作戦）により景観向上を図るなど、テーマ性をもって戦略的な維持管理を行います。

実施予定箇所

【橋梁の長寿命化対策】

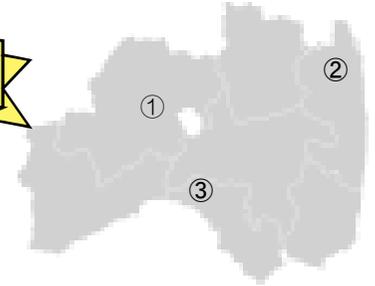
①国道121号
「浜崎跨線橋」(湯川村)

②国道115号
「櫻橋」(相馬市)

【路肩拡幅モデル事業】

③国道289号「真船地区」(西郷村) ほか

県の重点7プログラムを推進する事業



実施の状況

道路パトロール



<パトロールで発見した損傷箇所を応急処置>

少しの工夫で“ほっ”と安心！ 路肩拡幅モデル事業



<側溝の位置を工夫して路肩を広げた状況>
国道289号(西郷村)

うつくしまの道・サポート事業



<地域の方々による清掃活動の状況>

おもてなしの道づくり (フレッシュアップ作戦)



<景観に配慮して橋梁を塗り替えた状況>
国道252号(柳津町)



未来につなげる安全・安心

～河川・海岸・ダム・砂防・港の施設を適正に維持管理し、生活の安全・安心を守ります～

取組みの目的

適正な維持管理により、管理施設の機能を充分発揮させ、洪水・高波・土砂崩れなどによる災害の発生を未然に防止します。

また、管理施設を有効に活用し維持するため、予防保全を重視した計画的な維持管理を行います。

取組みの内容

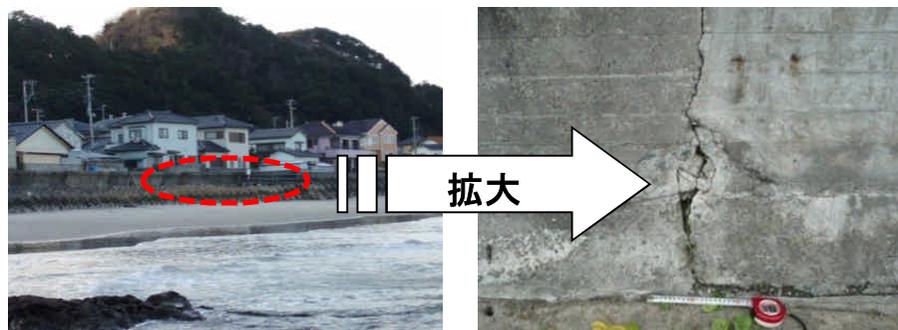
- 河川に堆積した土砂の掘削や、海岸堤防などの維持補修を行い、生活の安全・安心を守ります。
- 港湾や漁港、空港施設などの有効活用と維持管理費用の平準化を図るため、長寿命化計画を策定して計画的な維持管理を行います。

維持管理を要する箇所

- ①河川 : 491河川、延長4,641.9km、10ダム
- ②海岸 : 91地区海岸、延長146.6km
- ③砂防 : 砂防関係指定地 1, 984箇所
- ③港湾・漁港 : 港湾7箇所、漁港10箇所
- ④空港 : 福島空港(玉川村)

実施の状況

◇海岸堤防の老朽化状況◇



◆豊間海岸(いわき市)

堤防のひび割れ

◇港湾荷役機械の管理◇



◆小名浜港(いわき市)

◇滑走路の点検◇



◆福島空港(玉川村)



通学路などの歩道整備による安全な歩行空間確保

～通学児童・生徒の安全を確保するための歩道整備～

事業の目的

児童・生徒が安全に通学できる歩行空間の整備を進め、安心して子育てできるまちづくりを支援

事業の内容

通学児童・生徒の安全を確保するための歩道整備の推進



国道294号（白河市白坂）
白河第五小学校の通学路



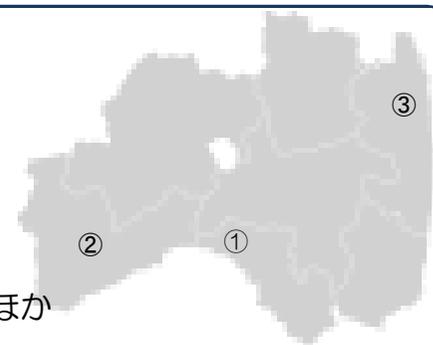
国道401号（南会津町山口）
南郷第一小学校の通学路



鹿島日下石線
（南相馬市鹿島区）
上真野小学校の通学路

実施代表箇所

- ①国道294号
「白坂工区」(白河市)
- ②国道401号
「山口工区」(南会津町)
- ③鹿島日下石線
「車川橋工区」(南相馬市) ほか



実施事例



なかのさいかちまちせん
中野梶町線（H21年度完了箇所）
福島市飯坂町中野地内 中野小学校の通学路



おのこおりやません
小野郡山線（H18年度完了箇所）
郡山市中田町下枝地内 御館小学校の通学路



里山の暮らしを支える道づくり

～過疎・中山間地域における地域交通確保事業～

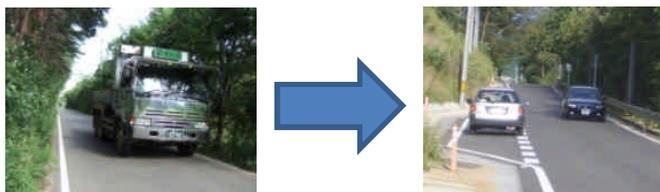
県の重点プログラム
を推進する事業

取組みの目的

少子高齢化が著しく進展している過疎・中山間地域において、住民の安全・安心を支える地域交通の確保を図ります。

支援策のイメージ

○日常の移動に関する支援



・バス等の大型車もすれ違いが可能となるように待避所等を整備し、安全な通行を確保します。

○救急医療の支援



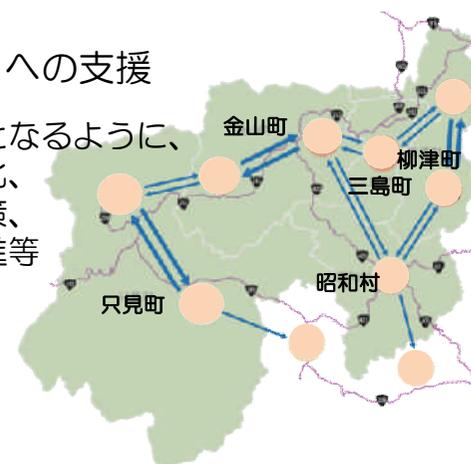
・緊急時に病院まで速く到達できるように道路を整備し、安心な暮らしを確保します。

取組みの内容

- 平成22年度は、懇談会やアンケート等により、当該地域の移動実態やニーズを把握するための基礎調査を行いました。
- 平成23年度は、前年度の調査結果をふまえ、関係機関と連携し、通勤・通学・買物・通院・出荷など様々な生活・産業活動を支援するため役割分担を明確化しながら当該地域のニーズに即した道路整備計画を策定します。

○災害に強い地域づくりへの支援

- ・災害に対して強い地域となるように、道路ネットワークの強化、災害危険箇所の安全対策、町村間の連携強化の促進等を図ります。





命を守り、雪に強い道路で 地域を支援

～積雪地域、過疎・中山間地域の道づくり～

取組みの目的

- 救急医療・地域医療を支援します。
- 雪国の日常生活を守ります。
- バス路線が少ない過疎・中山間地域の交通確保を支援します。

実施予定箇所

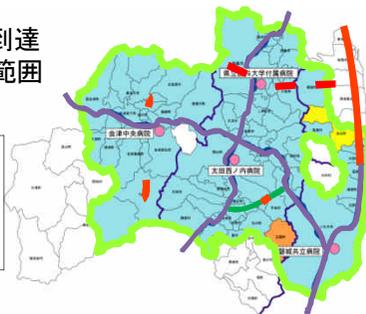
- ①いわき石川線さらがい「皿貝地区」(いわき市)
 - ②国道352号「中山峠」(南会津町)
 - ③あぶくま洞都路線「早稲川」わせがわ(田村市)
- ほか



・・・道路整備により60分以内で到達可能にすることができる最大限の範囲 (9,914km²)

救命救急センターへ60分以内で到達できる範囲

- : 平成20年度末
- : 平成26年度末までに新たに含まれる範囲
- : 平成31年度末までに新たに含まれる範囲



取組みの内容

- 救命救急センターへ60分以内で到達できる地域を広げるため、高規格道路などを整備します。ドクターヘリの活動を支援するため、アクセス道路の整備、離着陸場整備の検討を進めます。
- 雪道の安全向上を図るため雪崩防止柵や防雪柵を整備します。
- 市町村と連携し、過疎・中山間地域の地域交通確保の計画づくりに取り組みます。

実施の状況



<会津美里町松坂の雪崩を防止する整備事例(国道401号)>



<すれ違いをし易くする待避所の整備事例(旅人勿来線)>



チャレンジ!ふくしま「ゆい(結)の道」作戦～試験除雪～

～冬期間の地域活動や交流を支える道づくり～

取組みの目的

豪雪地帯の会津地方の中山間地域などにある冬期交通不能区間において、経済活動や地域間交流、日常生活を支援するため、通行止めの解消や期間短縮などを図ります。

標識が隠れるくらい雪が積もるんだね。



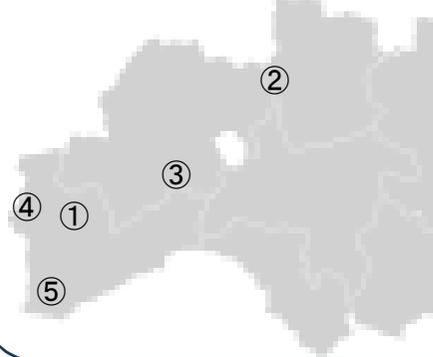
至 会津美里町

<試験除雪の取り組み状況(国道401号)>

取組みの内容

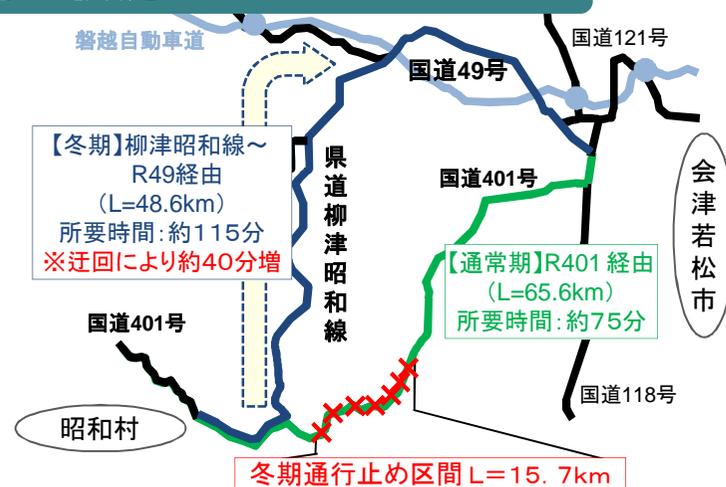
- 地域生活に密着した道路で冬期交通不能となる区間のうち、雪崩対策が完了するなど、条件が整った区間について試験除雪を行い、安全が確認できれば一般除雪に移行します。
- 防雪対策を進め、除雪開始時期を早めるなど通行止め期間の短縮を図ります。

実施予定箇所



- 【**通年通行の確保を図ります**】
 - ①小林館の川線「小川」(只見町)
 - ②本宮土湯温泉線「野地温泉」(福島市)
- 【**通行止めの期間短縮を図ります**】
 - ③国道401号「博士峠」(会津美里町・昭和村)
 - ④国道252号「六十里越」(只見町)
 - ⑤国道352号「七入」(檜枝岐村)

実施の状況 国道401号「博士峠」



除雪開始時期を早めるなどの対策(試験除雪)により
 通行止め期間を約50日間短縮しました。
 【対策前:115日<H19> → 対策後:67日<H20>, 66日<H21>】



未来へつなげよう！流域連携による美しい水環境

～下水道の整備を進め良好な水環境を未来に継承～

取組みの目的

総合的汚水処理構想である「ふくしまの美しい水環境整備構想」に基づき、生活排水等をきれいな水として自然に戻すことにより、公共用水域の水質保全と健全な水環境創出に努めます。

下水道普及率と阿武隈川(丸森)の水質

	平成元年	平成21年
下水道普及率	15.9%	→ 48.1%
水質(BOD)	3.0mg/l	→ 1.5mg/l

※BODが小さいほど、水質がよいことを表しています。

取組みの内容

○流域下水道事業

2以上の市町村の区域における下水を処理する事業で県が行う事業

○市町村下水道事業費補助

県内の財政力指数が1.0以下の市町村が行う公共下水道事業に対して、事業費の1～3%の補助を行う。(福島市他28市町村)

実施予定箇所

【流域下水道事業】

- ①阿武隈川上流流域下水道(県北処理区)
- ②阿武隈川上流流域下水道(県中処理区)
- ③阿武隈川あだたら流域下水道
(二本松処理区)⑤
- ④大滝根川流域下水道(田村処理区)

【市町村下水道整備代行事業】

- ⑤金山町



実施の状況



下水処理場：県北浄化センター



下水道出前講座
(流域下水道建設事務所)



不要となった浄化槽の雨水タンクへの転用、雨水浸透枳の設置、雨水貯留タンクの設置の費用を一部補助 (いわき市)



地球に優しく、美しいふくしまを支える道づくり

～新技術導入や多様な資源を有効に利用したエネルギー生産によるCO2削減～

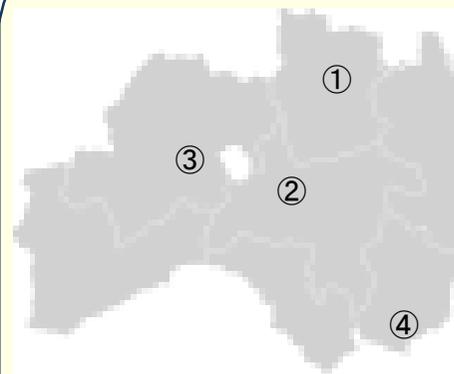
取組みの目的

- 既設道路施設についても、新技術を導入し、道路施設の維持管理に必要な電力消費を抑えるなど、CO₂の削減に取り組みます。
- 道路施設の維持管理用電力等に自然エネルギーを活用し、CO₂の削減に取り組みます。

取組みの内容

- 既設道路照明の施設更新の際、LED照明など消費電力の少ない新技術の試験導入を引き続き行い、その効果について検証を進める。
- 太陽光・風力等の自然エネルギーを電力に変え道路施設の維持管理用電力等への利用を検討する。
- 道路の新設に際しても、省電力タイプの機器の設置を検討する。

実施の状況



■【平成22年度
LED照明試験導入箇所】

- ①福島吾妻裏磐梯線(福島市)
- ②須賀川二本松線(郡山市)
- ③会津若松裏磐梯線(会津若松市)
- ④国道289号(いわき市)

【国道289号 錦跨線橋(いわき市)：整備例】



LED照明
を導入



■道路照明6基(12灯)にLED照明を導入し、1灯当たりの消費電力を400Wから164Wに抑えました。



環境にやさしいモデル工事の推進

～地球にやさしい公共事業をめざします～

県の重点プログラム
を推進する事業

取組みの目的

○「省エネルギー」「省資源」「リサイクル」「生態系保全」の4つに配慮した環境資材の使用拡大を図ることで、環境への負荷の少ない低炭素・循環型社会の形成を推進する。

4つのキーワード

省エネルギー
(CO2の削減)

生態系保全
(地球にやさしい)

省資源
(材料の有効利用)

リサイクル
(廃棄物の再資化)

- 省エネルギー・省資源
→ 地球温暖化防止対策
- リサイクル
→ 循環型社会の構築
- 生態系保全
→ 生態系に配慮した製品

取組みの内容

○「省エネルギー」「省資源」「リサイクル」「生態系保全」の4つをキーワードとした建築資材を使用するモデル工事を各出先機関で選定し、その工事請負費の一部を助成することで、環境資材の使用機会の拡大と認識を高める。

製品の事例

○建設副産物・間伐材を有効活用した以下の4つのキーワードに繋がる製品

【1 省エネルギー】

Co2削減に寄与する製品

屋上緑化もみからマット(ヒートアイランド防止)



【2 省資源】

廃棄物にせずに再利用する製品

木質チップ舗装



【3 リサイクル】

うつくしま、エコ・リサイクル製品

透水性平板(銅スラグ)



【4 生態系保全】

生態系に配慮した製品

魚巢ブロック



実施の状況

ガラスくずをコンクリートに混ぜ
リサイクルした側溝蓋



(猪苗代町若宮)

間伐材を再利用した視線誘導標



(埴町那倉)



進めよう！環境と人にやさしい「ふくしまエコ建築」

～環境保全に配慮した建物づくりを推進します～

取組みの目的

豊かな自然、風景、文化、環境を守り育てるため、これらに配慮した住宅、建築づくりに努めるとともに、省エネなど自然と共生する環境負荷の少ない建築を整備します。

取組みの内容

- 「福島県環境共生建築計画・設計指針」に基づき、環境負荷の少ない県有建築物を整備し、指針の活用を市町村や民間等に普及します。
- 既存の県有建築物については、「環境性能診断」を行い、「運用改善」と「改修工事」の両面から、施設管理者に提案し、**二酸化炭素(CO2)排出量の削減**を促進します。

実施予定箇所等

- 「環境性能診断」は、庁舎・学校等、143施設を診断することとしており、約60%が完了しています。今年度は、12施設で実施する計画です。
- 「ふくしまエコ建築」の普及促進のため、市町村や民間が実施する診断の支援や、新たな環境施策と連携するため関係機関との意見交換を行います。

実施の状況

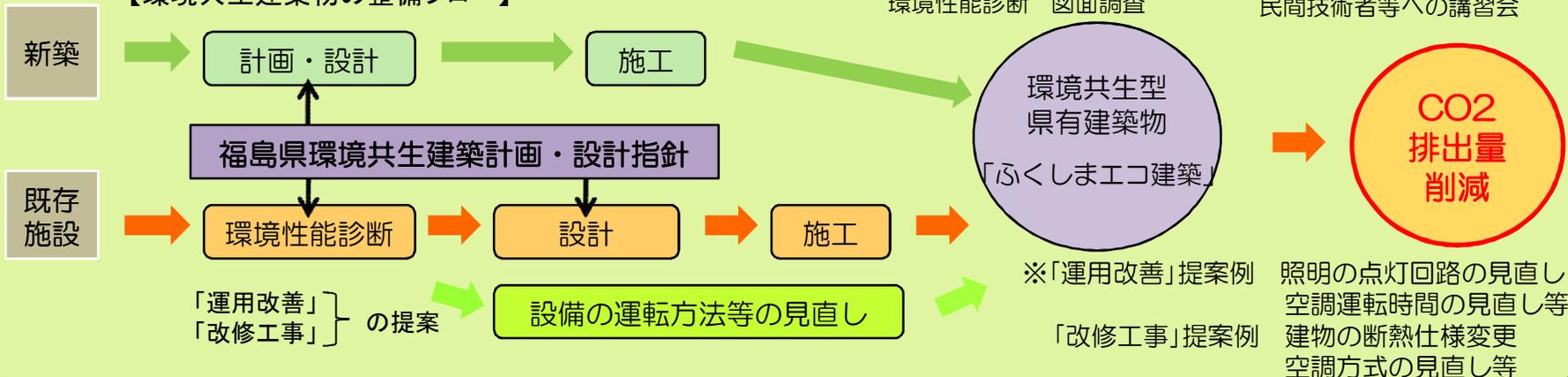


環境性能診断 図面調査



民間技術者等への講習会

【環境共生建築物の整備フロー】





ともに考え ともに育む身近な生活基盤

～社会資本の適正な管理によるサービスの向上～

取組みの目的

各建設事務所において、皆さんの生活に密着した身近な生活基盤を、スピーディかつ的確に整備・改善し、安全性や利便性、快適性の一層の向上を図ります。

取組みの内容

- 通学時に危険が伴う歩道を改善します。
- 大雨の時に問題となる排水路を改善します。
- 狭い道路のすれ違いできない箇所を解消します。
- 道路脇の危険箇所に柵をつけて転落を防ぎます。
- 河川の堤防を改善して大雨に備えます。

→県内各地の建設事務所職員が、県民の皆さんと直接話し合いながら迅速に対応します。

地域住民との現地調査



地域住民との懇談会



実施の状況



国道289号（只見町）



本宮土湯温泉線（大玉村）



湯川（会津若松市）

現地検討会の様子





やすらぎや潤いを与える緑豊かな都市公園の整備

～まちなかの緑を創出、自然と親しみ、ふれ合える公園へ～

取組みの目的

超高齢化社会の到来や自然志向、健康志向など、レクリエーション需要の変化や社会を取り巻く環境の変化などから、時代のニーズに対応した都市公園を整備するとともに、都市公園の魅力である自然や歴史、文化などの資源を活かしながら、緑豊かなまちづくりを推進します。



<そば収穫祭／福島空港公園>



<あづまの郷ウォーク
／あづま総合運動公園>

取組みの内容

- 早期全面供用を目指して、東ヶ丘公園の整備を推進します。
- 老朽化した公園施設の更新を進めます。
- 地域の交流や活性化に繋がるさまざまなイベントを行い、都市公園の利用を促進します。

実施予定箇所

【整備中の都市公園】

①東ヶ丘公園（南相馬市）

「用地取得、園路整備」

【老朽施設の更新を進める都市公園】

②あづま総合運動公園（福島市）

「陸上競技場の更新」



実施の状況

①東ヶ丘公園

【自然観察会や幼稚園児の遠足など公園利用に供する園路整備を行っています】



②あづま総合運動公園

【補助陸上競技場の3種公認の更新に向けて、トラック（走路）舗装等の改修を行います】





人にやさしく安全で快適な歩行環境づくり

～全ての人が安心して通れる歩行空間の創出～

県の重点プログラム
を推進する事業

取組みの目的

ユニバーサルデザインに配慮し、車いす利用者や高齢者、障がい者など全ての人が自由に移動でき、安心して生活ができる「思いやり」のある社会の実現を支援します。



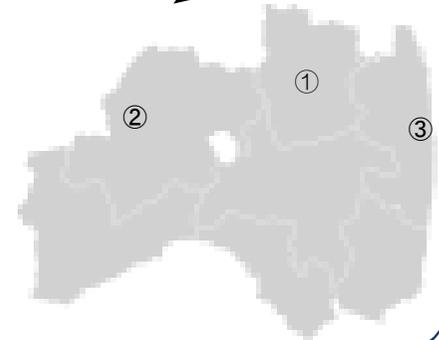
白河羽鳥線
(白河市道場小路工区)
車椅子等が安全で快適に
通行できる環境整備が必要
です。

取組みの内容

- 地域の方々との現地調査や意見交換などを実施し、適確なニーズ把握に努めます。
- 安全で使いやすい歩道の整備を推進します。
- 既存歩道の段差解消や勾配の緩和のほか歩道を広げるなど安全で歩きやすい歩行空間を整備します。
- 側溝の蓋掛けや幅広路肩など地域の実情に応じた歩行者の安全確保に努めます。

実施予定箇所

- ①福島飯坂線
「平野工区」(福島市)
- ②大久保野沢停車場線
「野沢工区」(西会津町)
- ③小浜字町線
おばまぎまちせん
「旭町工区」(南相馬市) ほか



実施の状況

原町二本松線
(南相馬市原町区本町工区)



- ・歩道の段差解消により平坦性を確保しました。
- ・歩道の幅を広げと電柱を移設し、人が歩くスペースを広くしました。
- ・誘導ブロックを設置し視覚障がい者の歩行にも配慮しています。





子育て世帯など、みんなにやさしい 住まいの提供！！

～ 子育て世帯や高齢者等に配慮した住まいづくりを支援します ～

取組みの目的

子育てしやすく、高齢者、障がい者や多子世帯などが安心して暮らせる居住環境づくりに努めます。

取組みの内容

1 県営住宅について

- 子育て世帯や高齢者等の優先入居を行います。
- 高齢者等に配慮した改善
 - ・安心して子育てしやすい比較的大きな床面積への改善等を進めます。
 - ・段差の解消、手すりの設置、エレベータの設置などを行います。
- 巡回等により高齢者の安心な暮らしを支えます。

2 民間住宅について

- 高齢者が円滑に入居できる民間賃貸住宅の登録の増加に努めます。
- 福祉関係団体等との連携により、高齢者が安心して暮らせる民間賃貸住宅の供給を促進します。

取組みの具体例

1 県営住宅

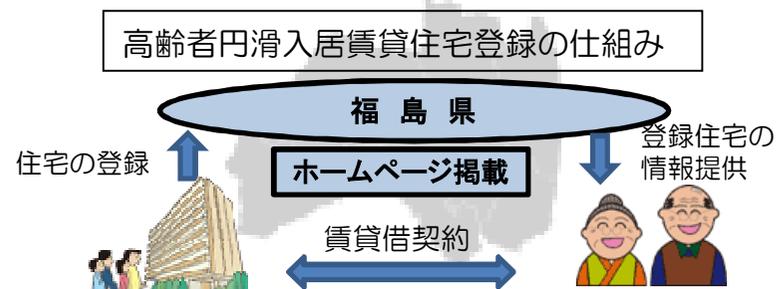
- ① 優先入居住戸の確保ときめ細やかな窓口対応
- ② ・3戸を2戸等に改善することによる1戸当たりの床面積の増加
 ・段差解消、手すりの設置などの改善工事
 ・蓬莱団地（福島市） ・柴宮団地（郡山市）
 ・高坂団地（いわき市）
- ③ ・高齢者の独り暮らし等の住戸の巡回
 ・世代間交流等を図るための懇談会の開催
 （モデル地区：県北、県中、会津・喜多方、いわき地区）



県営住宅入居相談

2 民間住宅

- ① 高齢者世帯の入居を拒まない住宅登録制度のPR



- ② 社会福祉協議会等と連携し、生活支援サービスが容易に受けられる高齢者住宅等の供給促進



進めます！ “みんなにやさしい” 公共建築

～すべての人が安全に安心して利用できるよう、県有建築物の改修を進めます～

県の重点プログラム
を推進する事業

取組みの目的

県有建築物について、ユニバーサルデザインの考え方にに基づき、高齢者や障がい者を含むすべての人々が安全に安心して利用できるよう、改修等を進めます。

取組みの内容

施設利用者等のニーズを的確に捉えながら、「人にやさしいまちづくり条例」の整備基準に沿った改修等を行います。

○段差の解消、手すりの設置、点字ブロックの敷設、出入口幅員の確保、扉の改修、エレベーターの設置などを行います。

○誰もが使いやすい「みんなのトイレ」や授乳室などを整備します。

実施予定箇所

※対象全80棟のうちH23年度末で77棟が完了予定

- ①いわき東警察署
- ②いわき南警察署（設計のみ）
- ③猪苗代警察署（設計のみ）



実施の状況



みんなのトイレを設置



手すり・スロープで段差を解消



利用者の皆さんによる改善検討会



エレベーターを設置

会津若松合同庁舎の例

5 資料編

(1) 平成23年度 土木部当初予算集計表

【一般会計】

(単位:千円、%)

		平成23年度 当初予算案額(A)	平成22年度 当初予算額(B)	増減額(A-B)	比較(A/B*100)
義	務 的 経 費	8,111,934	7,954,598	157,336	102.0
一	般 事 業 費	13,885,202	14,469,875	△ 584,673	96.0
公	共 事 業 費	77,053,087	80,568,209	△ 3,515,122	95.6
	一 般 公 共	18,036,077	24,676,459	△ 6,640,382	73.1
	普 通 建 設 事 業 費	1,662,009	5,912,128	△ 4,250,119	28.1
	災 害 復 旧 事 業 費	4,016,523	4,518,624	△ 502,101	88.9
	国 直 轄 事 業 負 担 金	12,357,545	14,245,707	△ 1,888,162	86.7
	県 単 公 共	47,685,813	45,415,060	2,270,753	105.0
	維 持 補 修 費	11,331,197	10,476,690	854,507	108.2
	合 計	99,050,223	102,992,682	△ 3,942,459	96.2
	公共事業費計(災害復旧事業費及び国直轄事業負担金を除く)	60,679,019	61,803,878	△ 1,124,859	98.2

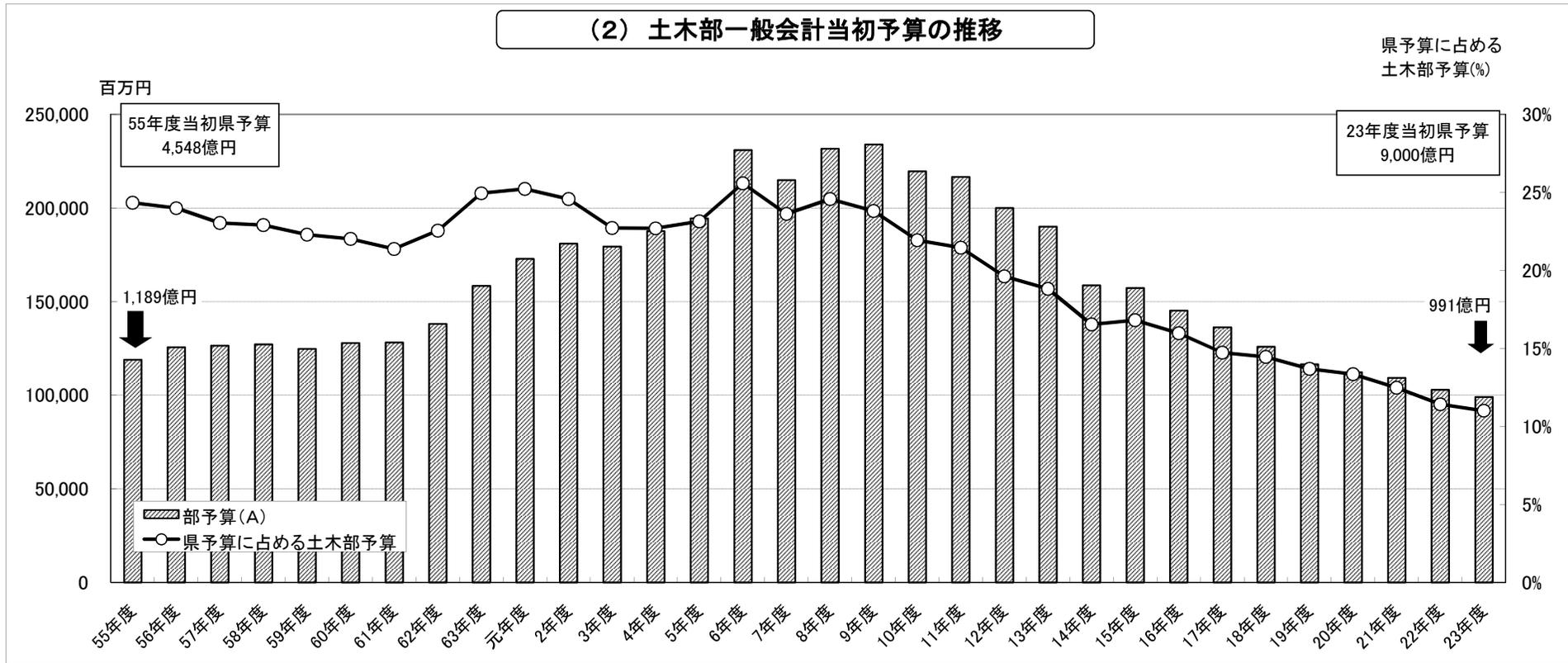
【特別会計】

土 地 取 得 事 業 特 別 会 計	3,300,000	3,300,000	0	100.0
港 湾 事 業 特 別 会 計	3,954,274	3,919,289	34,985	100.9
流 域 下 水 道 事 業 特 別 会 計	11,093,989	11,215,290	△ 121,301	98.9
(公 共 事 業 費)	(3,425,800)	(3,444,600)	(△18,800)	(99.5)
(一 般 事 業 費)	(7,668,189)	(7,770,690)	(△102,501)	(98.7)
合 計	18,348,263	18,434,579	△ 86,316	99.5

【一般会計+特別会計】

合 計	117,398,486	121,427,261	△ 4,028,775	96.7
-----	-------------	-------------	-------------	------

(2) 土木部一般会計当初予算の推移



単位:百万円

年 度	55年度	56年度	57年度	58年度	59年度	60年度	61年度	62年度	63年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
土木部予算額	118,929	125,642	126,540	127,214	124,783	127,957	128,261	138,146	158,491	172,924	181,052	179,466	187,697	194,460	230,947	214,951
県予算額に占める土木部の割合	24.3%	24.0%	23.0%	22.9%	22.3%	22.0%	21.4%	22.6%	24.9%	25.2%	24.6%	22.7%	22.7%	23.1%	25.6%	23.6%
県予算額	454,818	488,843	523,810	549,210	555,412	559,629	581,216	600,041	612,543	635,482	685,704	736,629	789,818	827,163	840,152	902,858

年 度	8年度	9年度	10年度	11年度	12年度	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度
土木部予算額	231,674	233,933	219,655	216,689	200,014	190,031	158,754	157,353	145,217	136,298	125,890	116,500	112,246	109,271	102,993	99,050
県予算額に占める土木部の割合	24.6%	23.8%	21.9%	21.5%	19.6%	18.8%	16.5%	16.8%	16.0%	14.7%	14.5%	13.7%	13.4%	12.5%	11.4%	11.0%
県予算額	942,672	982,417	1,001,757	1,009,817	1,019,420	1,010,168	959,943	936,633	909,629	925,035	870,929	851,189	840,719	875,448	902,220	900,034